

県選管職員、手順を入念に確認

衆院選立候補受け付けリハーサル

届け出順を決めるくじ引きの手順を確認する県選管職員ら。14日午後、県庁講堂



県選管は衆院選公示前日の14日、県庁講堂で立候補受け付けのリハーサルを行った。参加した県選管職員約20人は、当日の受け付けがスムーズに進むよう手順を一つ一つ確認した。

リハーサルは、職員を立候補予定者に見立てて行った。宮崎1～3区の選挙区ごとに分かれた受付台で、届け出順を決めるくじを引いたり、選挙運動に必要な選挙事

務所の標札や街頭演説用の腕章など「七つ道具」を配ったりした。

県選管の茂雄二委員長は「順調に準備が進んでいる。今回の選挙は国の動向を左右する重要な選挙なのでぜひ投票してほしい」と強調していた。

宮崎1～3区では現職、新人合わせて9人の立候補が見込まれている。

持久力や瞬発力記録に挑戦

宮崎市民一斉体力測定に500人

スポーツの日に合わせて「第7回宮崎市民一斉体力測定」（同市スポーツ協会主催）は14日、市総合体育館で開かれた。6～91歳の市民約500人が参加し、さまざまな種目を通じて自身の体力や運動能力を把握した。

生涯にわたり運動を楽しめる健康な体づくりや、競技力向上を目的に開催。スポーツ庁の新体力テストを基に種目を設け、上体起こしや長座体前屈などの共通項目と、ハンドボール投げ（12～19歳）や開眼片足立ち（65歳以上）といった年齢別項目があり、1人6～8種目に挑戦した。参加者は心地よい汗を流しながら真剣な表情で取り組み、好記録が出ると周囲から拍手が起きていた。

昨年の測定で年代別1位に輝いた



「宮崎市民一斉体力測定」で反復横跳びに挑戦する参加者

という佐土原中3年の松田実優さん（15）は、握力測定や20メートルシャトルランなどで前回記録を更新。「小学1年から器械体操に取り組んでいて体力に自信がある。50メートル走のタイムをもっと縮めるなど、全項目で満点を出したい」と話していた。

そろばん計算や暗算の速さ競う

第64回県珠算選手権大会

第64回県珠算選手権大会は14日、宮崎市の宮崎日本大学学園であった。小学生から一般まで計86人が参加し、計算のスピードや正確性を競った。

同大会は全日本通信珠算競技大会を兼ね、全国珠算教育連盟県支部（今村聖支部長）が毎年開催。四則演算をそろばんや暗算で解く「個人総合」や、コマ数秒で切り替わる画面に映し出された数字を頭の中で足し算する「フラッシュ暗算」など計5競技に挑戦した。

参加者は真剣な表情で問題と向かい合い、会場にはそろばんをはじく音だけが響いた。同市・宮崎南小6



計算のスピードや正確性を競った第64回県珠算選手権大会の参加者

年の藤下大雅さん（12）は「緊張せずいつも通りの力を出せ、個人総合では多くの問題を解けた」と笑顔を見せた。

宮崎日日新聞

THE MIYANICHI

電子
特報

2024年（令和6年）10月15日（火）

〒880-8570 宮崎県宮崎市高千穂通 1-1-33

【購読申し込み】 ☎ 0120-37-3821

詳しくは16日付（水）以降の宮崎日日新聞をご覧ください。